

H24	銀賞	ブロッセ作曲 ヨハン・デメイ編曲 タンタン～太陽の神殿～	指揮 伊藤 一彦 A編成に出場	37名
H25	金賞 東海 金賞	ホルジンガ作曲 「春になって王達が戦いに出るに及んで」 ※中部日本吹奏楽コンクールでも県代表 本大会（浜松）で銀賞受賞	指揮 伊藤 一彦	34名
H26	金賞	Aリード作曲「オセロ」より I前奏曲（ヴェニス）、Ⅲオセロとデズデモナ、 Ⅳ廷臣たちの入場	指揮 伊藤 一彦	41名
H27	金賞 東海 銀賞	ホルジンガ作曲 「スクーティン・オン・ハードロック」 ※中部日本吹奏楽コンクール県大会でも金賞	指揮 伊藤 一彦	33名

平成 27 年秋新チームのメンバー

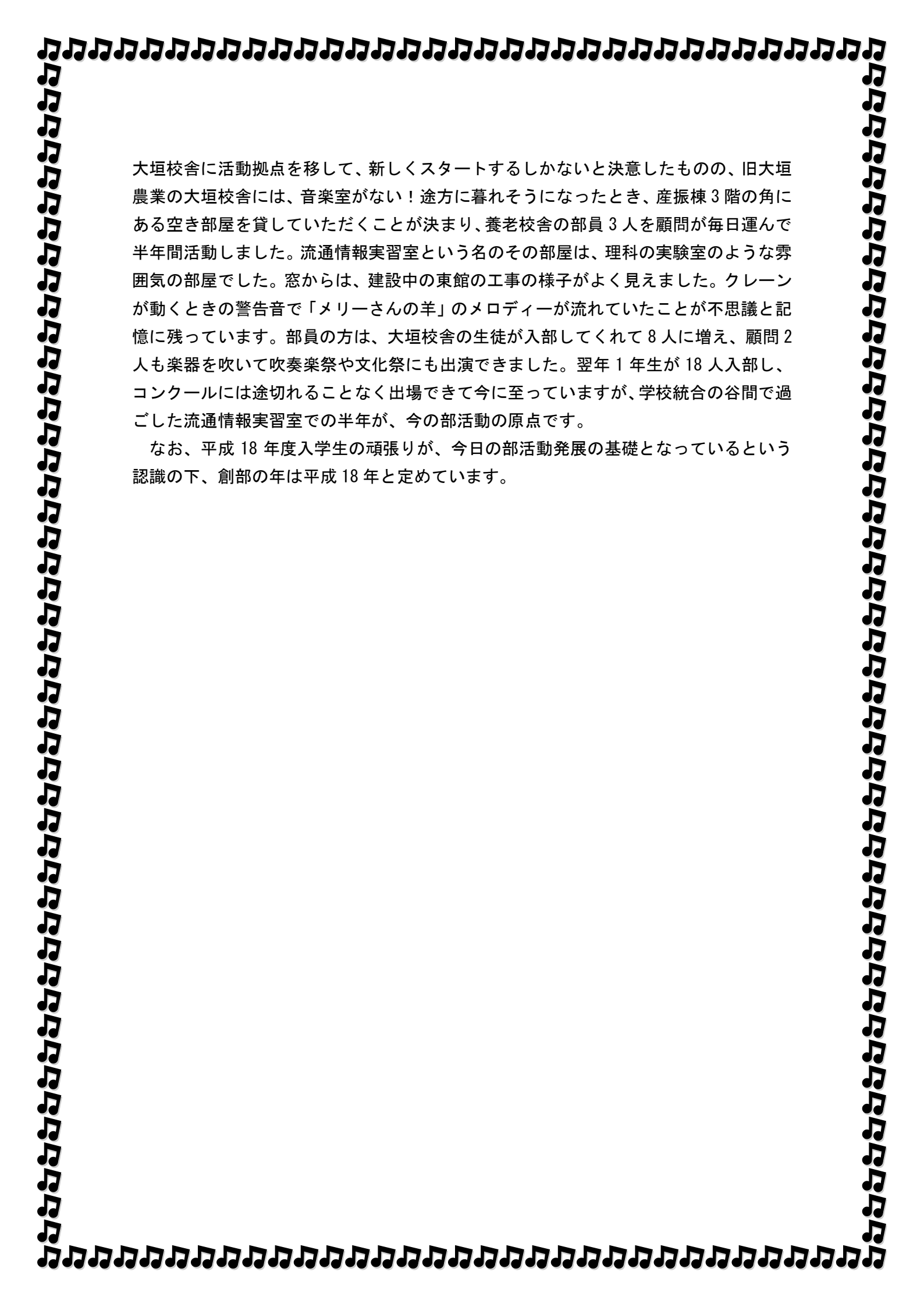


平成 27 年度秋～新チームの抱負

平成 27 年度の夏のコンクールでは、「Revenge」を成功させ、東海大会出場、銀賞受賞をはたしました。新チームになっても、これまでの経験をバネにし、より美しい音と息の合ったアンサンブルを目指して技術向上を図っています。吹奏楽祭やイベントのステージで練習の成果を発揮し、お客様に笑顔になってもらえるよう頑張ります。応援よろしくお祈りします。定期演奏会にも是非ご来場ください。

学校統合から創部まで

吹奏楽部は、旧養老女子商業高校の部活動でした。平成 17 年度の夏まで、養老校舎（旧養老女子）で活動していました。1 年生 1 人、2 年生 3 人、3 年生 10 人の計 14 人で夏のコンクールに出た後、3 年生が引退して、部員が 4 人になる大ピンチが訪れました。



大垣校舎に活動拠点を移して、新しくスタートするしかないと決意したものの、旧大垣農業の大垣校舎には、音楽室がない！途方に暮れそうになったとき、産振棟3階の角にある空き部屋を貸していただくことが決まり、養老校舎の部員3人を顧問が毎日運んで半年間活動しました。流通情報実習室という名のその部屋は、理科の実験室のような雰囲気のある部屋でした。窓からは、建設中の東館の工事の様子がよく見えました。クレーンが動くときの警告音で「メリーさんの羊」のメロディーが流れていたことが不思議と記憶に残っています。部員の方は、大垣校舎の生徒が入部してくれて8人に増え、顧問2人も楽器を吹いて吹奏楽祭や文化祭にも出演できました。翌年1年生が18人入部し、コンクールには途切れることなく出場できて今に至っていますが、学校統合の谷間で過ごした流通情報実習室での半年が、今の部活動の原点です。

なお、平成18年度入学生の頑張りが、今日の部活動発展の基礎となっているという認識の下、創部の年は平成18年と定めています。